

のために人を雇用、調査したことが報告されていた気配があるのに、現場の職員だけが悪かった、などという事があるでしょうか。

私たちは、減給の前に、市長が外部監査で真相を究明し、責任の所在も明らかにし、再発防止策を講じてから処分を決めるべき、と求めました。

しかし市長は外部監査を拒否したため、最後の手段として、議会の調査権を行使でき、証人として当時の幹部から証言を聞く権限を持つ100条調査委員会（自治法100条に基づく特別委員会）の設置を求める動議を出しました。

各党派協議になったものの、民主・市民連合会派が否

決に回り、46分の10で設置はできませんでした。とても悔しいことです。

しかし、まだ終わっていないこの問題を、今後の建設常任委員会でどう議論になるのか、など監視とチェックを続けます。皆さんの声をぜひお寄せください。

麻溝台・新磯野地域の区画整理事業

80億円の一括包括委託＝「全ておまかせ」は「新国立競技場」の二の舞になりませんか？

9月議会では、補正予算で麻溝台・新磯野の区画整理事業特別会計について、80億円の債務負担行為（市が借金の保証をすること）を求める議案が出ました。

第1整備地区の38haについて、市が行う区画整理事



豪雨で冠水してしまった麻溝台を視察してきました。

業です。

コンサルタントとゼネコンに全て任せるのですが、地下埋設物の調査から工事までを一括で7年もの長期契約にする事は例がありません。

もっと心配なのはこの事業資金計画全体がまだ議会には公式に出ていないことです。127億円という事業全体の計画資金規模は、あくまでも地権者に示しただけです。

公式に出さないのは、今後コンサルタント委託の予定額が80億円からもっと高くな

ることが想定されるためです。記録に残るものを議会に出せないのではないかと推察されます。

荒廃農地にされてしまった場所が、危険でもなくゴミも捨てられないようになるのは歓迎ですが、市が荒廃を放置した責任を忘れ、野放図に税金をゼネコンの言うがままに出すことになっては、知恵がなさすぎます。

10年後、人口が減って他の地域では空き家が増える市内で、ここに税金での区画整理で新築の家を建てていくことが必要なのか、とても悩ましい問題です。

コンベンションホールは必要ですか？

リニア中央新幹線の間駅をつくるという予定の橋本からJR相模原駅にかけて、一体に整備する構想があります。

米軍相模総合補給廠の一部返還地域を含めてコンベンション施設や美術館にする壮大な

再開発計画です。すでにコンサル委託を多用して、基本計画と整備計画に多額のお金がつぎ込まれています。

でも、ちょっと待って下さい。まず、市民や企業に呼びかけ、公園、原っぱ等、みんなが電車を使っても来てみたいと思える魅力を持った街のコンセプトを、ハコモノありきでなく、広く多彩に募ることからはじめませんか。